

医療の歴史

History of Modern Pharmacy and Medicine

医療科目 2、3年／前期 1.5単位 自由選択科目

科目責任者 石橋 賢一 (病態生理学教室)

■ 教育目的

開講して4年目の本年は臨床医学入門として臓器別に歴史を学び、病態生理学や薬物治療学のイントロとしても活用できるようにする。歴史をたどることで、薬学が薬を武器にした病気との闘いの歴史であることが理解される。西洋において発達した近代史に焦点をあてて講義をおこなうが、医学や薬学が発見の歴史であることと同時にお互いの関係も理解できるようにする。

■ 学習到達目標

- 1、病気が発見され、診断や治療法が確率された歴史を理解する
- 2、臓器単位に臨床の面白さを理解する
- 3、薬の発見の歴史を知る
- 4、臨床医学の考え方を身につける

■ 準備学習（予習・復習）

復習：興味をもった項目について調べておく

■ 授業内容

スライドを用いた講義と、オーディオやビデオを用いた体験型授業も行う。分野ごとの歴史だけでなくエピソードを主体とした臓器別疾患の発見・治療の歴史に重点をおく。

No.	項目	授業内容	SBO コード
1	医薬学史総論	近代位医学から現代まで、ヒトゲノム、iPS細胞	
2	病理学の歴史	ヴェザリウス解剖学、ヴィルヒョウの細胞病理学、ガリレオ顕微鏡	
3	生理学の歴史	ハーヴィ血液循環、クロードベルナールの実験医学、社会医学ナイチンゲール	
4	薬理学の歴史	ウィザリングのジギタリス、ジェルチエルナーのモルヒネ、分子生物学	
5	感染症の歴史 1	結核とコッホ	
6	感染症の歴史 2	コロンブスと梅毒	
7	感染症の歴史 3	天然痘とジェンナー、ポリオとソーク	
8	感染症の歴史 4	マラリア、ハンセン病	
9	外科の歴史	パレ外科学、消毒薬ゼンメルワイス、麻酔薬、臓器移植	
10	免疫学の歴史	ワクチンと血清療法：ベーリング、北里、メチニコフから抗生物質	
11	血液学の歴史	輸血、化学療法、抗体医療、臨床検査学、細胞培養	
12	内分泌 / 栄養学の歴史	アドレナリン、インスリン、コルチゾール、ビタミン	
13	神経学の歴史	ベル、カハール、シャルコー、プロカ、脳波、fMRI	
14	精神医学の歴史	クレペリン、フロイト、ロボトミー、電気通電、向精神薬	
15	薬物治療の歴史	臨床検査、有機化学、薬の歴史から薬剤師の役割の変遷まで	

■ 授業分担者

No.1～5、8～15：石橋 賢一 No.5～7：越前 宏俊

■ 成績評価方法

出席 30%、レポート 70% によって評価する。

■ 参考書

『医学の歴史』 梶田 昭 (講談社学術文庫 2003)

『Disease 人類を襲った 30 の病魔』 Mary Dobson (医学書院 2010)

■ その他

自由選択科目で選択科目にカウントされないが、(熱意だけでなく)病態生理学や薬物治療学の基礎として、必須科目の単位がとりやすくなる。